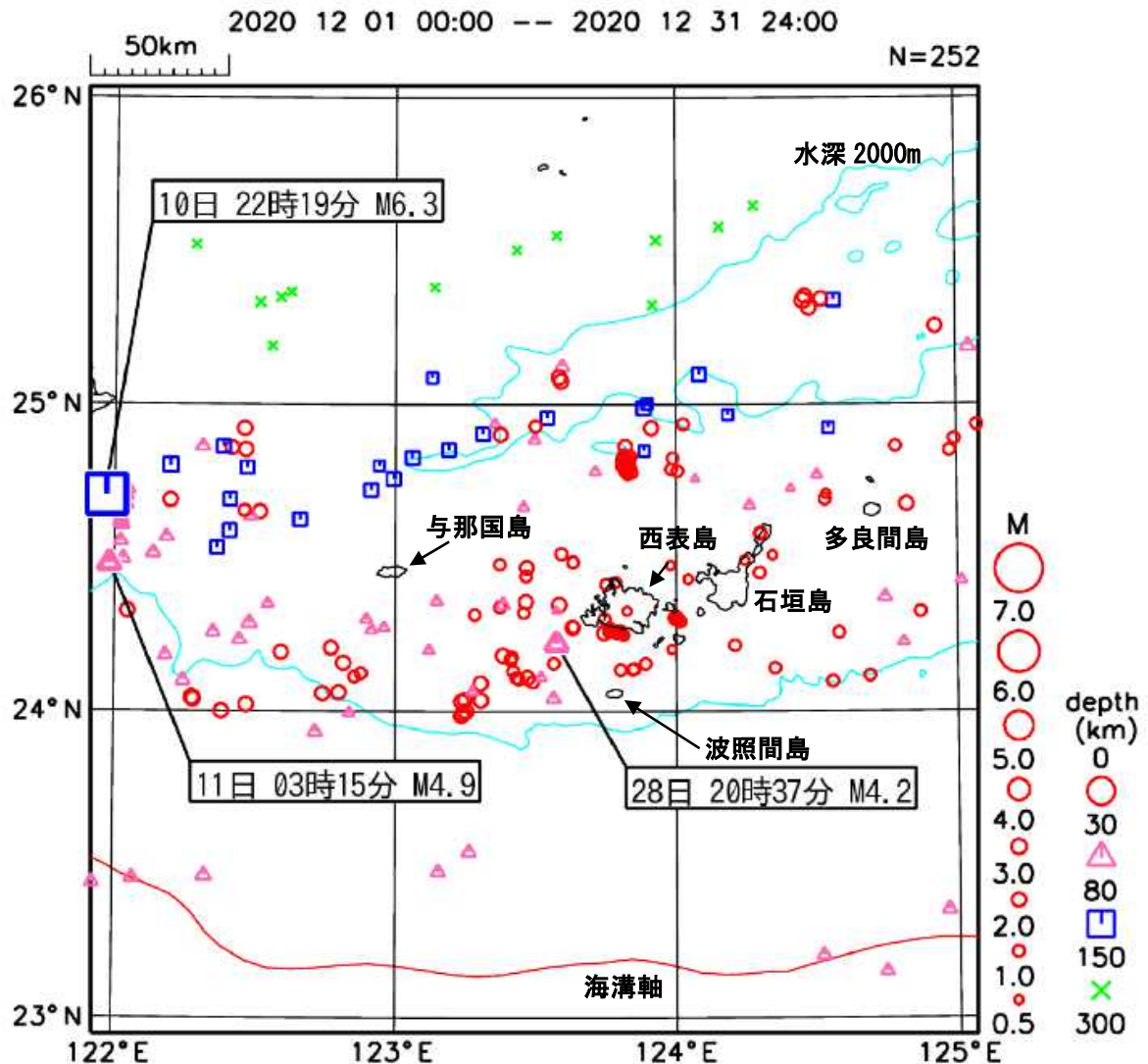


八重山地方の地震活動

令和2年(2020年)12月

石垣島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、八重山地方で252回(11月は341回)の地震を観測しました。震度1以上を観測した地震は4回(11月は1回)でした。

10日22時19分に台湾付近(与那国島の西北西約110km)で発生した地震(M6.3、深さ86km)により、多良間島から与那国島にかけて震度2~1を観測しました(別紙参照)。

11日03時15分に台湾付近(与那国島の西約100km)で発生した地震(M4.9)により、竹富町(西表島)で震度1を観測しました。

11日18時48分に宮古島近海(宮古島の南約60km、上掲震央分布図範囲外)で発生した地震(M5.2 深さ41km)により、宮古島市で震度2を観測したほか、宮古島から石垣島にかけて震度1を観測しました(震度分布図参照)。

28日20時37分に西表島付近(西表島の南西約20km)で発生した地震(M4.2、深さ45km)により竹富町(西表島)で震度2を観測したほか、石垣島から西表島にかけて震度1を観測しました。

八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：12月1日～31日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2020年12月10日22時19分 沖縄県	台湾付近 石垣市新栄町*、与那国町祖納、与那国町久部良、与那国町役場*、竹富町大原 竹富町船浮	24°42.1' N	121°58.1' E	86km	M6.3
	震度 2： 震度 1：				
	多良間村塩川、石垣市登野城、石垣市新川、石垣市平久保、石垣市美崎町* 竹富町黒島、竹富町波照間、竹富町上原*				
2020年12月11日03時15分 沖縄県	台湾付近 竹富町船浮	24°28.7' N	121°58.9' E	67km	M4.9
2020年12月11日18時48分 沖縄県	宮古島近海 宮古島市城辺福北、宮古島市伊良部前里添、宮古島市城辺福西*、宮古島市下地* 宮古島市上野支所* 多良間村塩川、多良間村仲筋*、宮古島市平良下里、宮古島市平良池間 宮古島市上野新里、宮古島市平良狩俣*、宮古島市平良西里*、石垣市登野城 石垣市平久保、石垣市新栄町*、石垣市伊原間*、竹富町黒島、竹富町船浮 竹富町上原*	24°16.1' N	125°14.7' E	41km	M5.2
2020年12月28日20時37分 沖縄県	西表島付近 竹富町上原* 石垣市平久保、石垣市新栄町*、竹富町大原、竹富町船浮	24°13.1' N	123°34.4' E	45km	M4.2

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※八重山地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

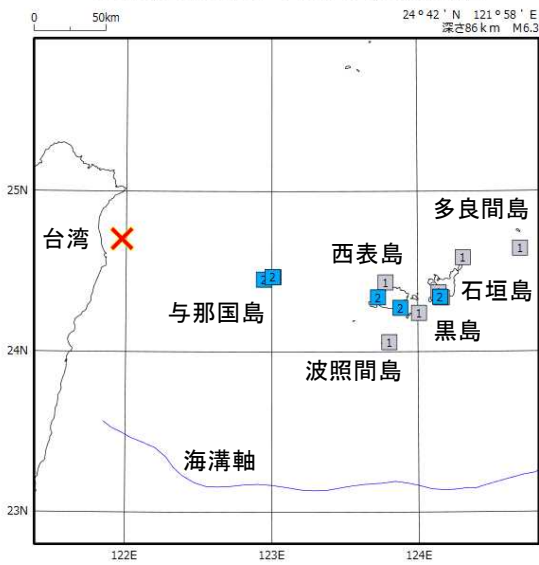
※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

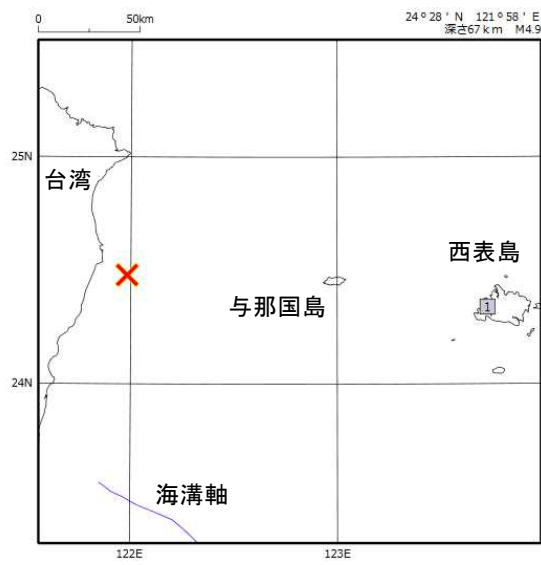
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

2020年12月10日22時19分 台湾付近の地震の震度分布図

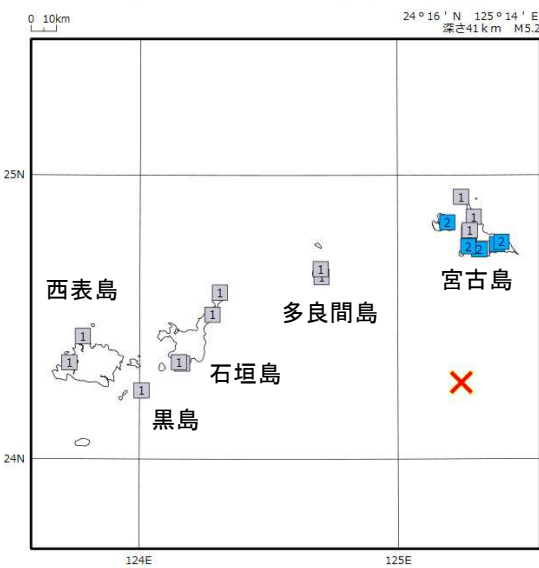


2020年12月11日03時15分 台湾付近の地震の震度分布図

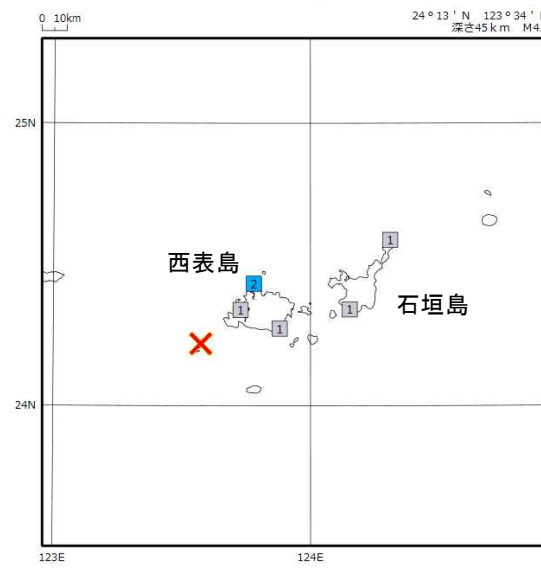


0

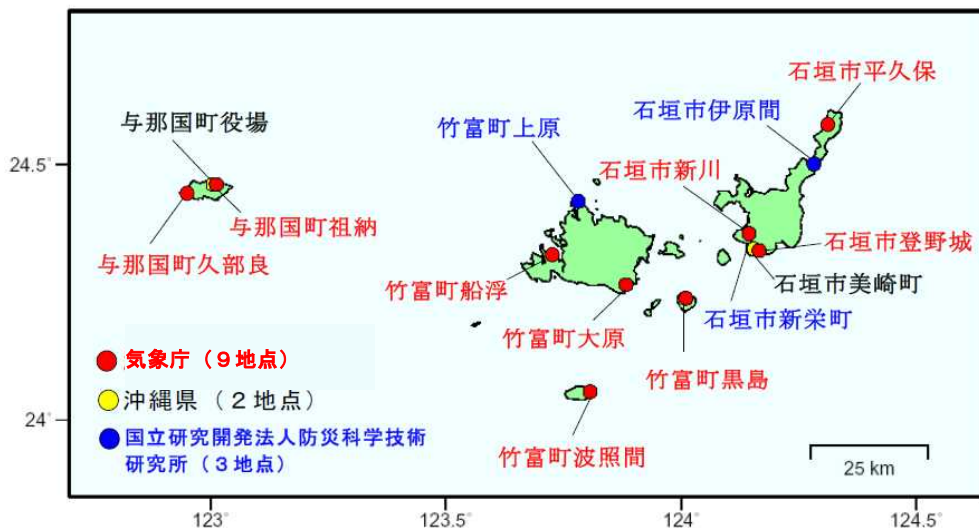
2020年12月11日18時48分 宮古島近海の地震の震度分布図



2020年12月28日20時37分 西表島付近の地震の震度分布図



八重山地方の震度観測地点



過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

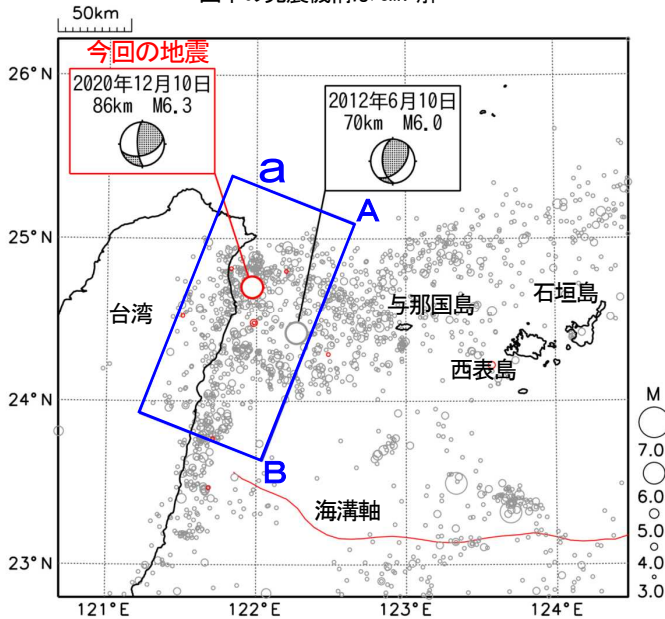
URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2159

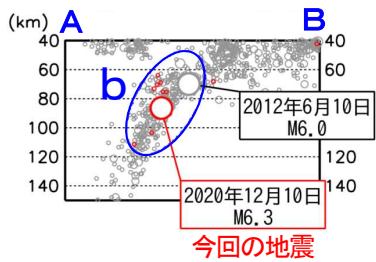
12月10日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日~2020年12月31日、
深さ40~150km、 $M \geq 3.0$)
2020年12月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

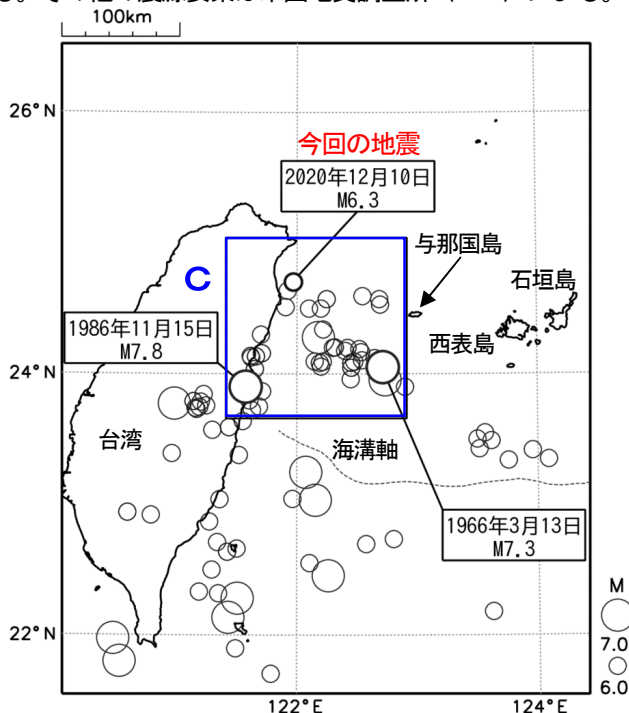


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

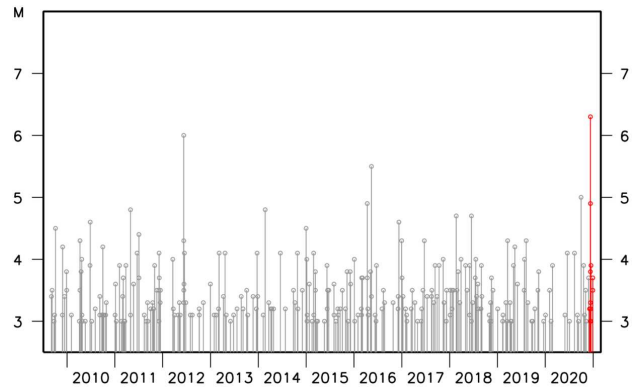
(1960年1月1日~2020年12月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 6.0$)
今回及び1966年3月13日の地震の震源要素は気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。



2020年12月10日22時19分に台湾付近の深さ86kmでM6.3の地震（日本国内で最大震度2）が発生しました。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。発震機構（CMT解）は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型です。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震源付近（領域b）では、2012年6月10日にM6.0の地震（日本国内で最大震度3）が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生しています。

領域b内のM-T図



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で最大震度3）が発生しました。この地震により、宮古島平良で30cmの津波を観測しました。また、1966年3月13日のM7.3の地震では、与那国島で死者2人や家屋の全半壊等の被害が発生しました（被害は、「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図

